

< あなたの治療について >


消・外 - BV/XELOX - 大腸 - q3w




今回の治療は、BV/XELOX 療法という治療法で、カペシタピンというのみ薬とアバスチン (BV) とエルプラット (L-OHP) という2種類の注射薬を併用して行います。カペシタピン、アバスチン、エルプラットは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。3つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行い、1日目の点滴の日の夕から15日目の朝に渡ってのみ薬を服用します。(2日目の朝から15日目の夕まで服用する場合があります) この治療を3週間(21日間)ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

|  | 薬剤商品名<br>(薬の作用)                              | 投与 | 1日目(夕)~15日目(朝)                                                                    | 16~21日目 |
|--|----------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------|---------|
|  | カペシタピン<br>(抗がん剤)<br>2000mg/m <sup>2</sup> /日 | 内服 |  | お休み     |

| 順序 | 薬剤商品名<br>(薬の作用)                          | 投与           | 1日目                                                                                 | 2~21日目 |
|----|------------------------------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------|
|    | アバスチン<br>(抗がん剤)<br>7.5mg/kg              | 点滴<br>約1.5時間 |  | お休み    |
|    | グラニセトロン<br>デキサート<br>(吐き気止め)              | 点滴<br>約15分   |  | お休み    |
|    | エルプラット<br>(抗がん剤)<br>130mg/m <sup>2</sup> | 点滴<br>約2時間   |  | お休み    |

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなったりはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について (頻度20%以上)

アバスチン・カペシタピン・エルプラットについて

白血球数減少、好中球減少、リンパ球数減少、ヘモグロビン減少、赤血球数減少、血小板減少  
AST (GOT) 上昇、ALT (GPT) 上昇、ALP 上昇 血中ビリルビン増加  
悪心、嘔吐、食欲不振 下痢 口内炎 手足症候群 末梢神経症状 疲労  
注射部位反応

特徴的な副作用について

アバスチンにおける

## ショック・アナフィラキシー様症状

「顔が赤く熱くなる、皮膚が痒い、蕁麻疹がでる、唇や舌・手足がしびれる、くしゃみ・咳が出る、気分が悪い、心臓がドキドキする、尿意や便意を生じる、喉がつまる、息が苦しい、目の前が暗くなる」などの症状

**\*投与時間は初回 90 分、2 回目 60 分、3 回目以降 30 分と短縮することがあります。**

## 創傷治癒遅延

手術後の傷口の治りが遅れる

**\*手術の後、手術を行う場合は申し出て下さい。**

## 高血圧

高血圧になることがありますので、治療期間中は定期的に血圧を測定することが大切です。

## 脳出血

「鼻血、歯ぐきからの出血；青あざができる；痰に血が混じる；吐き気、嘔吐；頭痛、突然のひどい頭痛；顔や手足の片側がしびれる」などの症状

## エルプラットにおける

### 末梢神経症状、咽頭喉頭感覚異常

手、足、口、のどのまわりのしびれ、痛み、のどがしめつけられるような感覚

**\*上記症状は、低温又は冷たいものへの曝露により誘発又は悪化することが知られています。冷たい飲み物や氷の使用を避け、低温時には皮膚を露出しないよう注意して下さい。**

## 過敏症状

発疹、かゆみ、気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下など

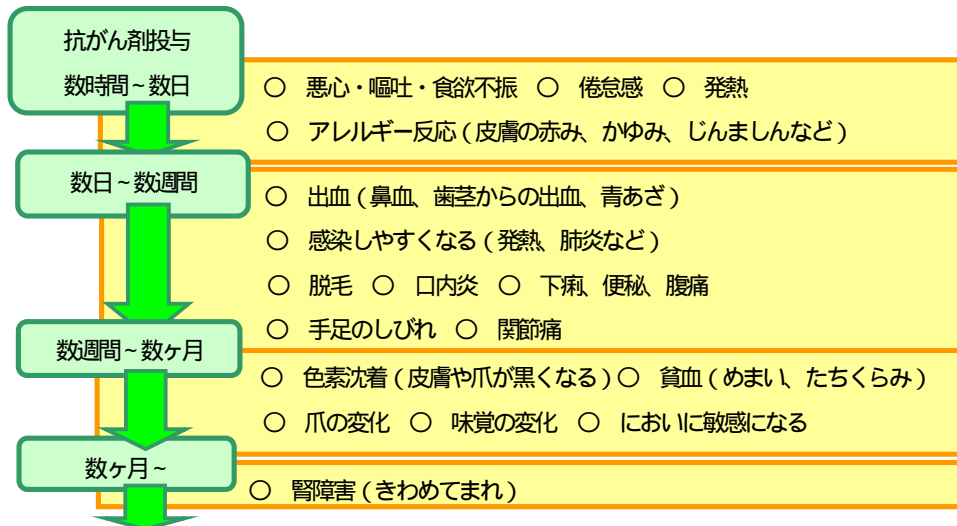
**\*上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

## 副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗がん剤による副作用だけでなく、他の抗がん剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## 副作用の対策について

吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

## 薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

### 【アバスタチン】

- ＜消化管穿孔＞激しい腹痛、吐き気、おう吐、便秘、便に血が混じる（赤～黒っぽい便が出る）
- ＜創傷治癒遅延＞傷口が治りにくい、傷口が開く、傷口から出血する
- ＜消化管出血＞激しい腹痛、血を吐く、便に血が混じる（赤～黒っぽい便が出る）
- ＜肺出血＞痰に血が混じる、血を吐く
- ＜脳出血＞頭痛、吐き気、おう吐、片側の手足のまひ、強いしびれ、意識がもうろうとする
- ＜脳血管発作、一過性脳虚血発作、脳虚血、脳梗塞＞頭が重い、頭痛、吐き気、おう吐、しゃべりにくくなる、顔や手足のまひ、しびれ、めまい、意識がもうろうとする、視力が低下する
- ＜心筋梗塞、狭心症＞胸が痛い、胸が苦しい
- ＜高血圧性脳症、高血圧性クレーゼ＞頭痛、吐き気、意識がもうろうとする、けいれん
- ＜可逆性後白質脳症候群＞頭痛、ぼんやりする、ふらつき、覚えられない、物忘れ、けいれん、しゃべりにくい、見えにくい、眼のかすみ、明暗がわからない、意識がなくなる
- ＜ショック、アナフィラキシー様症状＞寒気がする、冷汗が出る、手足がしびれる、立ちくらみ、呼吸困難、胸が苦しい、発疹、じんましん、かゆみ、むくみ、口唇やのどがはれる、血圧が下がる
- ＜粘膜出血＞鼻血が出る、歯ぐきから出血する、腔から出血する
- ＜深部静脈血栓症、肺塞栓症等の静脈血栓塞栓症＞片方のふくらはぎが赤く腫れたり、ふくらはぎを押すと痛む、急に息苦しく感じたり、胸苦しさを感ずる
- ＜ネフローゼ症候群＞尿の量が減る、体がだるい、疲れやすい、尿が出にくい
- ＜好中球減少症＞熱が出る、体がだるい、のどが痛いなどのかぜのような症状
- ＜うつ血性心不全＞息切れがする、胸が痛い、胸が苦しい

### 【エルプラット】

- ＜ショック・アナフィラキシー様反応＞顔面がそう白になる。胸が苦しい、意識が混濁する。
- ＜過敏症＞発しんやかゆみがある。息が苦しい、めまいがする。
- ＜末梢神経症状＞持続的に手や足、口のまわりがしびれたり、痛む。のどがしめつけられるような感覚が続く。
- ＜間質性肺炎・肺線維症＞から咳がでる。軽い動作や運動時の息切れ、熱がでる。胸が苦しい。
- ＜骨髄機能抑制＞寒気がする。発熱。のどの痛み。貧血。めまい。息切れ。出血しやすい。
- ＜溶血性尿毒症症候群＞発熱。貧血症状。皮下出血によるあざ。しびれ。むくみ。頭痛。
- ＜視野欠損・視野障害・視神経炎・視力低下＞目がかすむ。物の形が見えにくい。
- ＜血栓塞栓症＞鋭い胸の痛みがある。足の付け根や足に痛みがある。わきの下や腕に痛みがある。
- ＜心室性不整脈・心筋梗塞＞どうき。胸が痛い。めまいがする。ふらふらする。
- ＜肝静脈閉塞症＞血を吐く。便が黒い。

### 【カペシタビン】

- ＜脱水症状＞からだのだるい、のどが渇く、深く大きい呼吸、手指のふるえ、尿量が減る、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力の低下
- ＜手足症候群（Hand-foot syndrome）＞手のひらや足の裏の感覚が鈍くなったり過敏になる、赤くはれ上がる、痛み、皮がむける、水ぶくれ、ただれ
- ＜心障害＞からだのだるい、全身のむくみ、冷や汗、めまい、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、息苦しい、息切れ、胸がドキドキする、動く時の動悸、胸の痛み、狭心痛、胸がしめつけられる感じ、胸が押しつぶされるような感じ、胸を強く押さえつけた感じ、急に胸を強く押さえつけられた感じ、気を失う
- ＜肝障害、黄疸＞からだのだるい、白目や皮膚が黄色くなる、かゆみ、尿が黄色い・褐色になる、食欲不振、吐き気、嘔吐
- ＜腎障害＞頭痛、顔のむくみ、眼がはれぼったい、尿量が減る
- ＜骨髄抑制＞からだのだるい、発熱、鼻血、歯ぐきの出血、息切れ、あおあざができる、出血が止まりにくい、出血しやすい
- ＜口内炎＞口の中が荒れて痛い

<間質性肺炎>から咳、息苦しい、発熱、頭痛

<重篤な腸炎（出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎など）>激しい腹痛、下痢、血が混ざった便、発熱、むかむかする、吐き気、嘔吐、腹がはる

<重篤な精神神経系障害（白質脳症など）>物忘れ、ふらつき、ぼんやりする、覚えられない、しゃべりにくい、意識がなくなる、けいれん

<血栓塞栓症>手足のまひやしびれ、しゃべりにくい、胸の痛み、呼吸困難、片方の足の急激な痛みや腫れ、背中の痛み

<皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）>からだかだるい、食欲不振、発熱、高熱、中央にむくみを伴った赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、陰部の痛み

<溶血性貧血>体がだるいめまい、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、息切れ、尿の色が濃くなる

**上記のほかにも副作用が現れることがあります。**

**他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。**